

平成30年度 安全講演会の開催

- 〔開催日〕 平成30年6月29日（金） 13:30～15:00
〔開催場所〕 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 大講堂
〔講師〕 早木 武夫 氏（中央労働災害防止協会 技術支援部審議役）
〔演題〕 「惜しまぬ努力で、ゼロ災」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所における全国安全週間行事の一環として、6月29日、中央労働災害防止協会技術支援部審議役の早木武夫氏を講師にお招きし「惜しまぬ努力で、ゼロ災」と題する講演会が、原子力科学研究所大講堂において開催されました。

講演会は、東海ノア協定加盟の6事業所からの15名を含む、280名の方々が聴講されました。

講演会では、早木講師から、安全文化の醸成は惜しまぬ努力で達成されるとの主旨の下、同じような災害が繰り返し発生している。また、事故や災害は複数の欠陥（社会的環境の悪条件、人的欠陥や不安全な行動・状態など）の連鎖により発生するため、これらの欠陥の一つでも排除することで発生を防止できると具体例を交え紹介されました。

更に、事故や災害の発生防止に効果的なリスクアセスメントについて、具体的な手順も含め紹介されました。

そして、原子力科学研究所にはスパイラルアップを目指すため、「労働衛生マネジメントシステム（OSHMS）」の導入が有効ではないかとの提言とシステムの紹介がありました。

原子力科学研究所で最近発生した事故に対するコメントや、安全文化醸成活動として「おせっかい運動」を定着させることが大切であるなど、ゼロ災に向け有意義な安全講演会でした。



講演会会場の様子